



物
五
口

ウ
ア
リ
リ

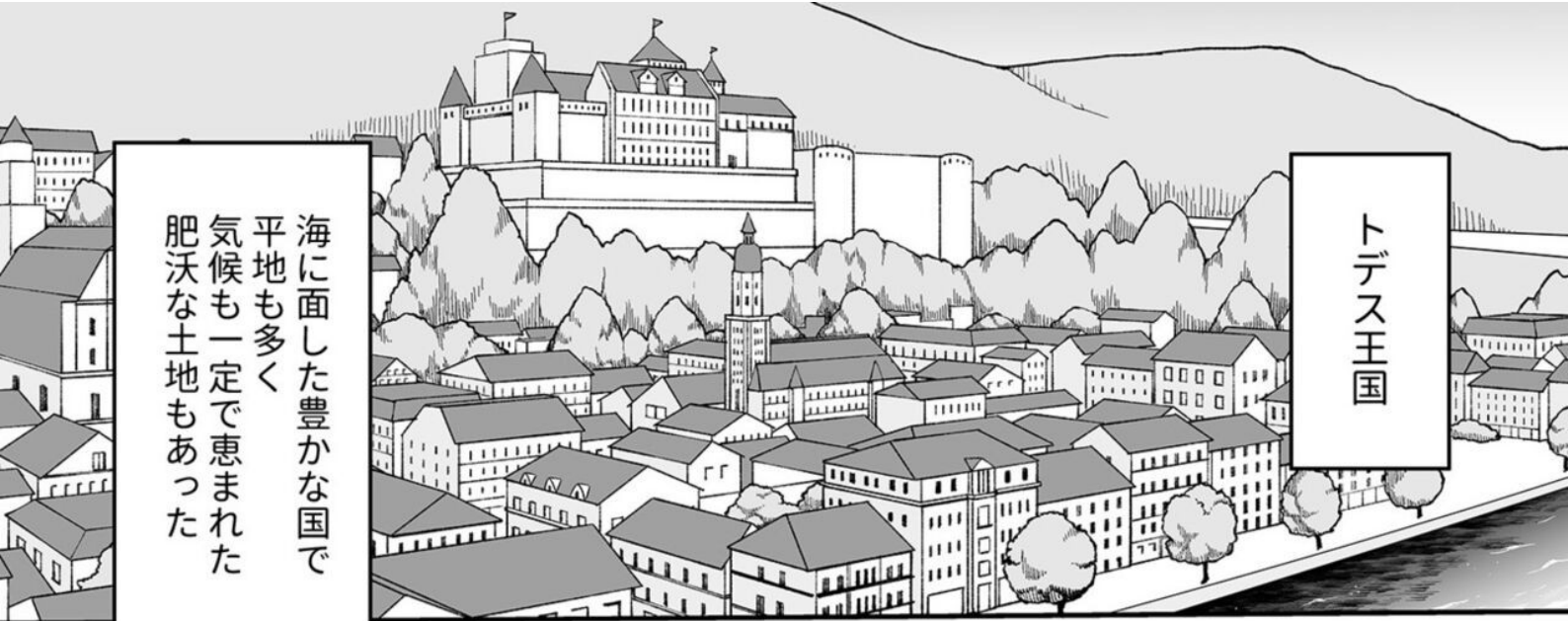
〜王女様はやりたい放題!?〜

①

成年
コミック

かゆみ止め

Kayumi dome



トデス王国

海に面した豊かな国で
平地も多く
気候も一定で恵まれた
肥沃な土地もあった

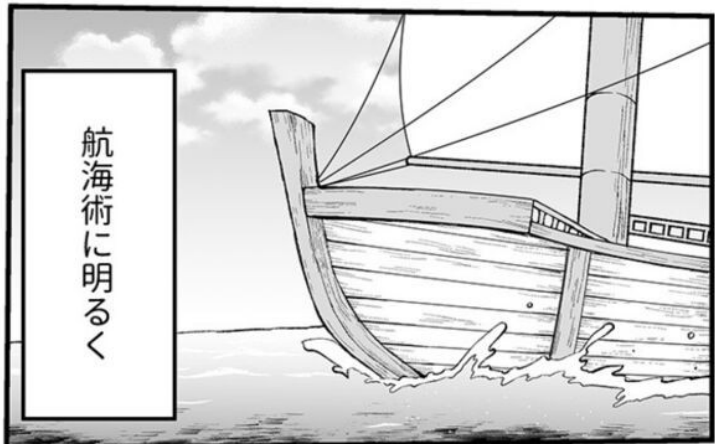
近隣諸国との
中継貿易国の役割も
担っており



各地から
人が集まる事から
様々な技術も
トデス王国に
集約していた

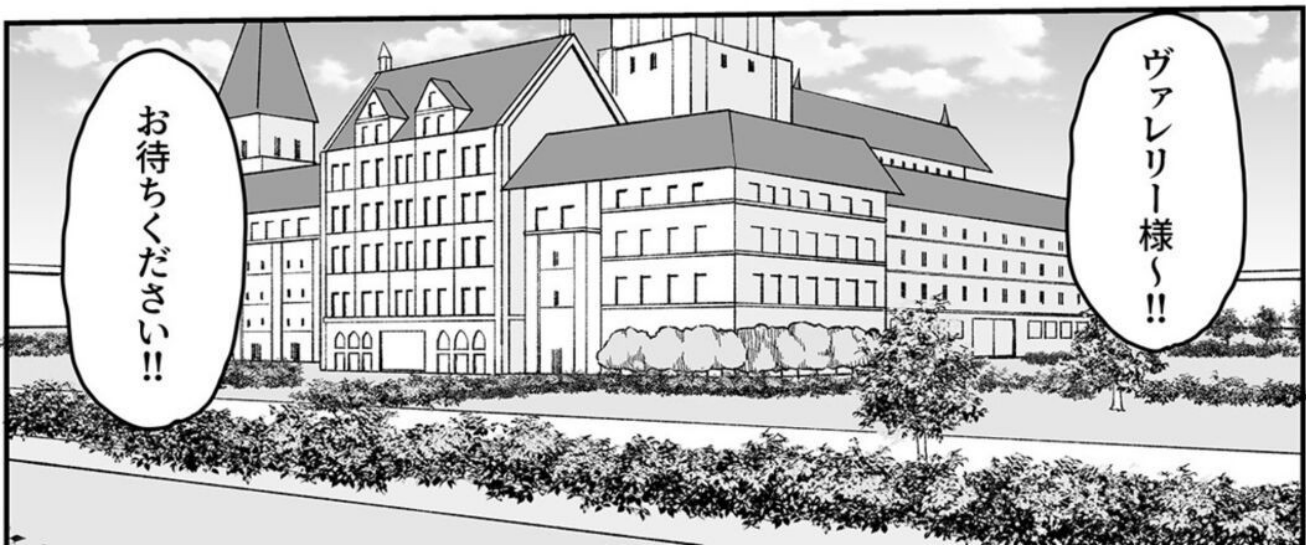


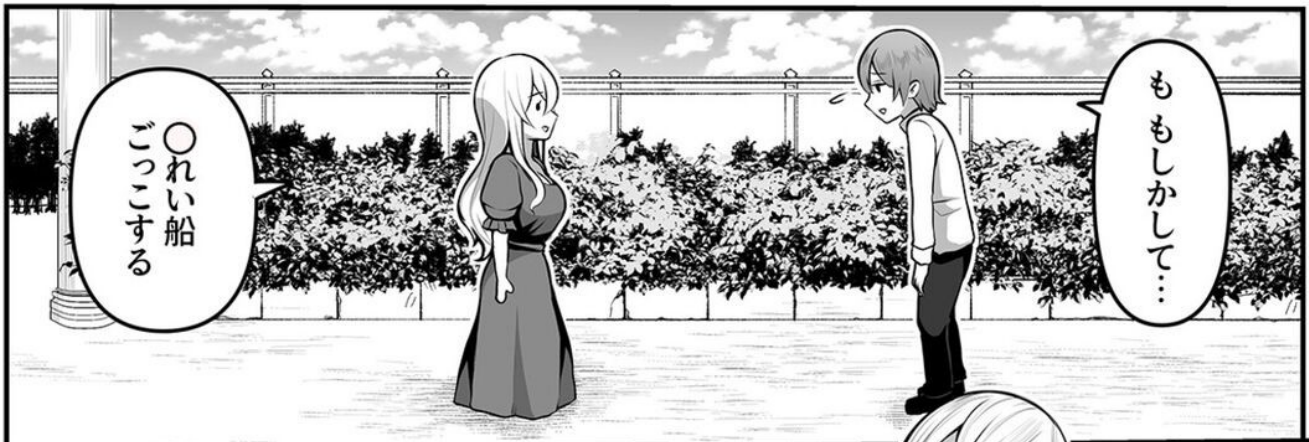
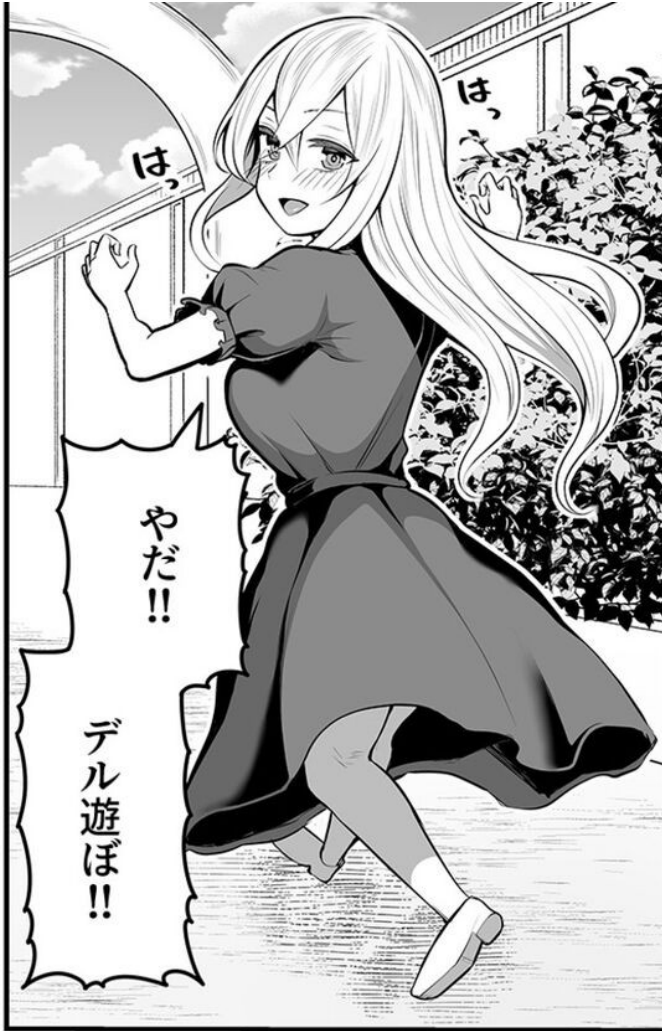
航海術に明るく

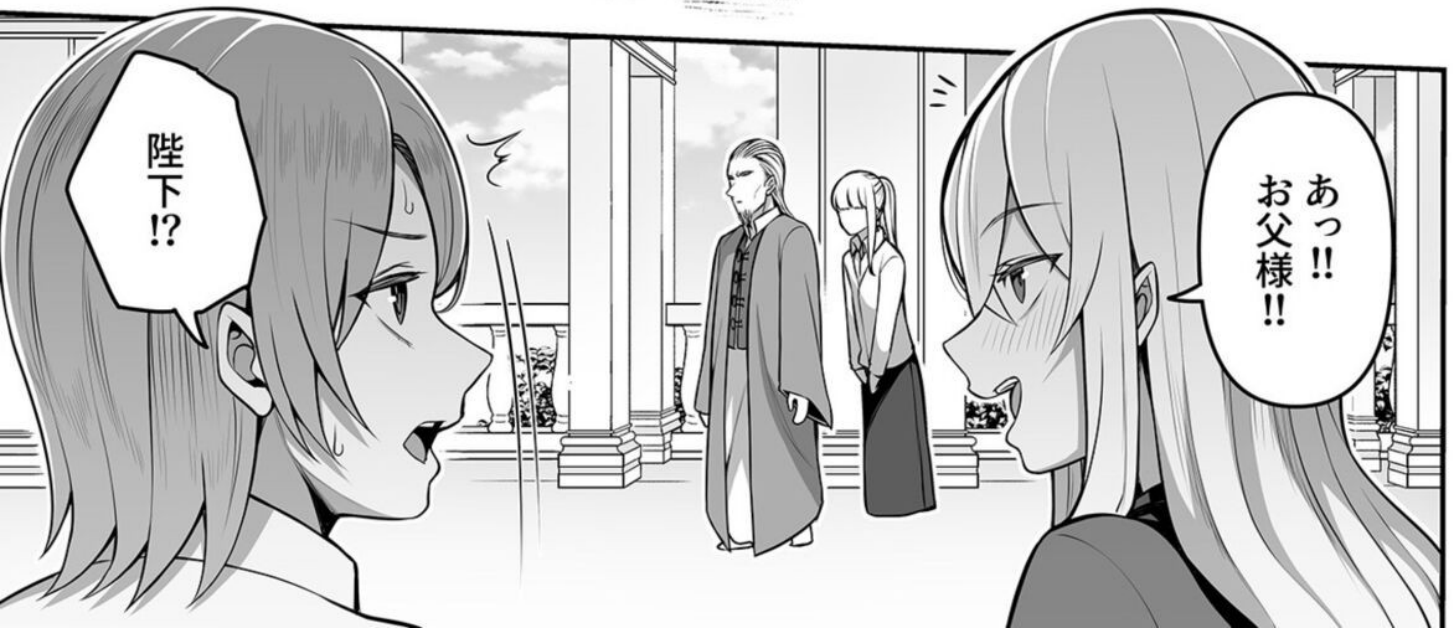
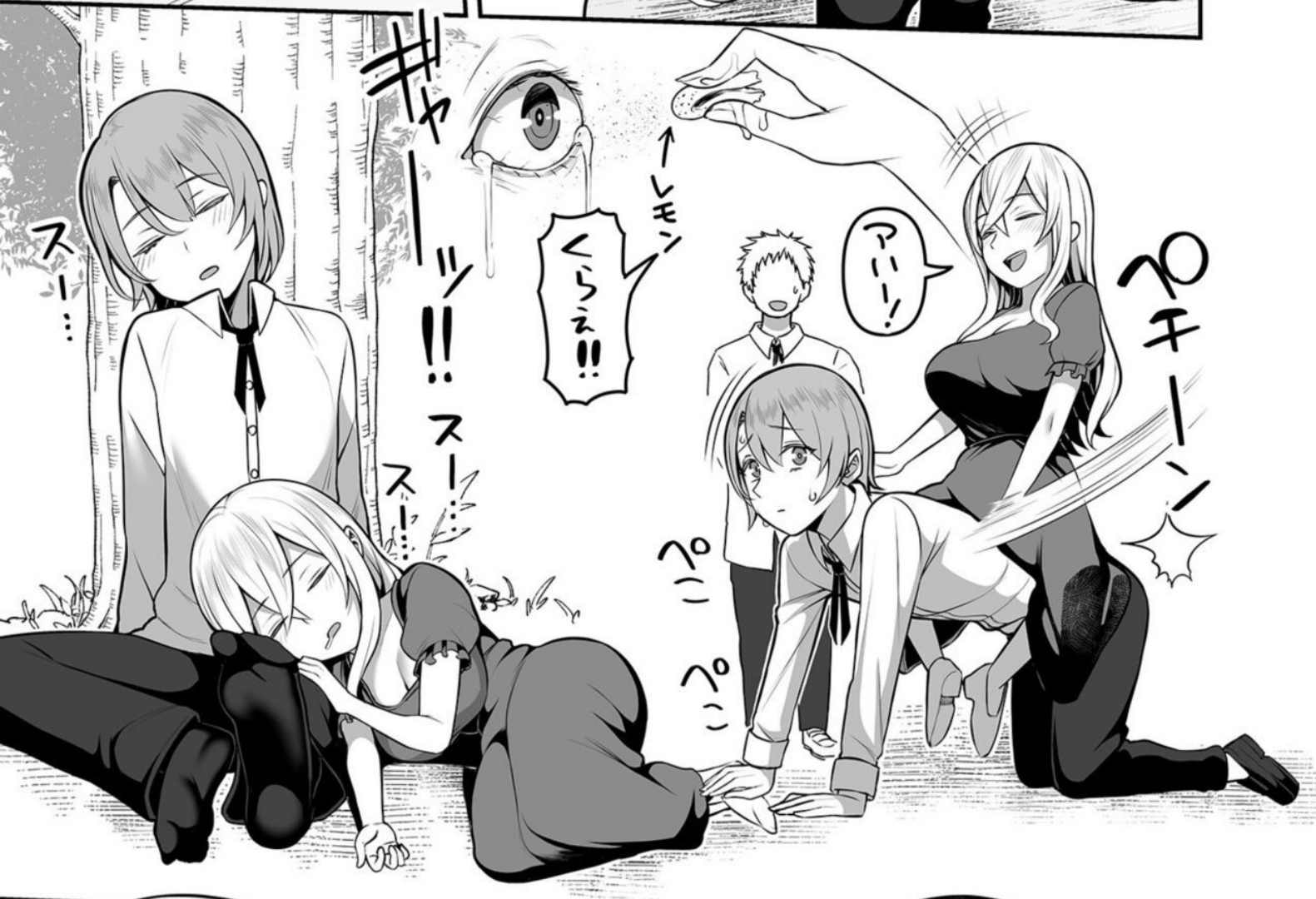
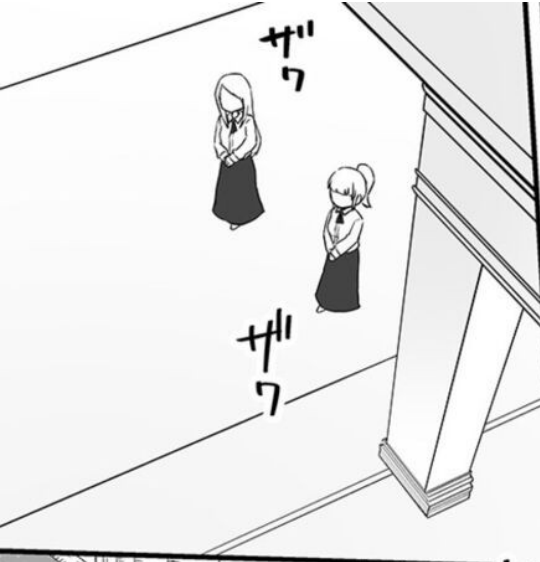


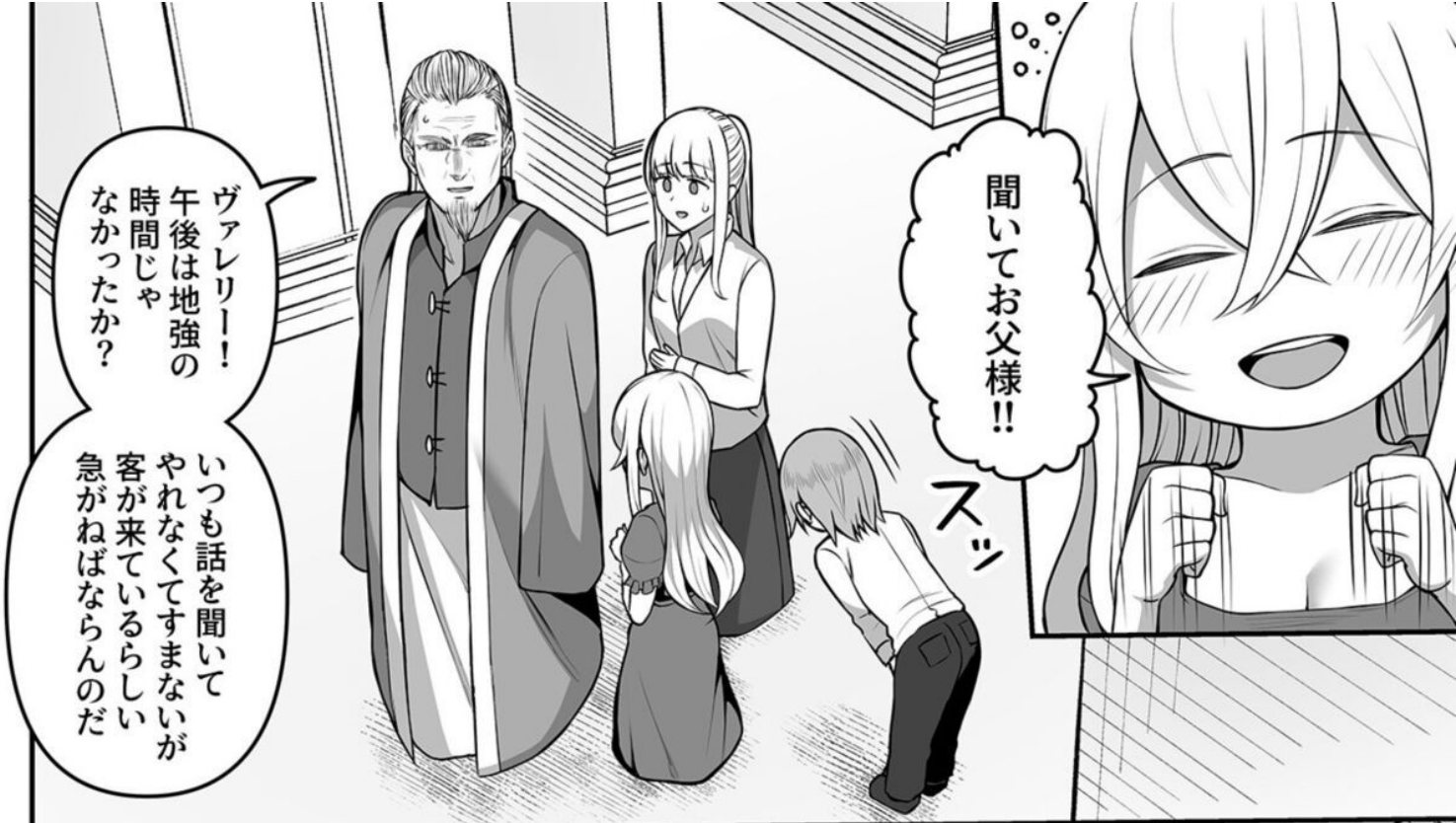
ヴァレリー様〜!!

お待ちください!!









ヴァレリー！
午後は地強の
時間じゃ
なかったか？

いつも話を聞いて
やれなくてすまないが
客が来ているらしいが
急がねばならんのだ

聞いてお父様！！

ズッ



陛下
お急ぎ下さい

ううむ



は...



ギョッ



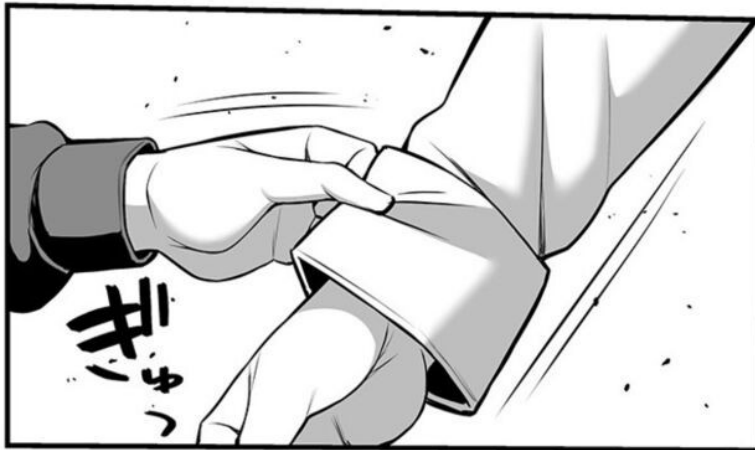
いいの
後でまたお話に
行くから

……
お供します

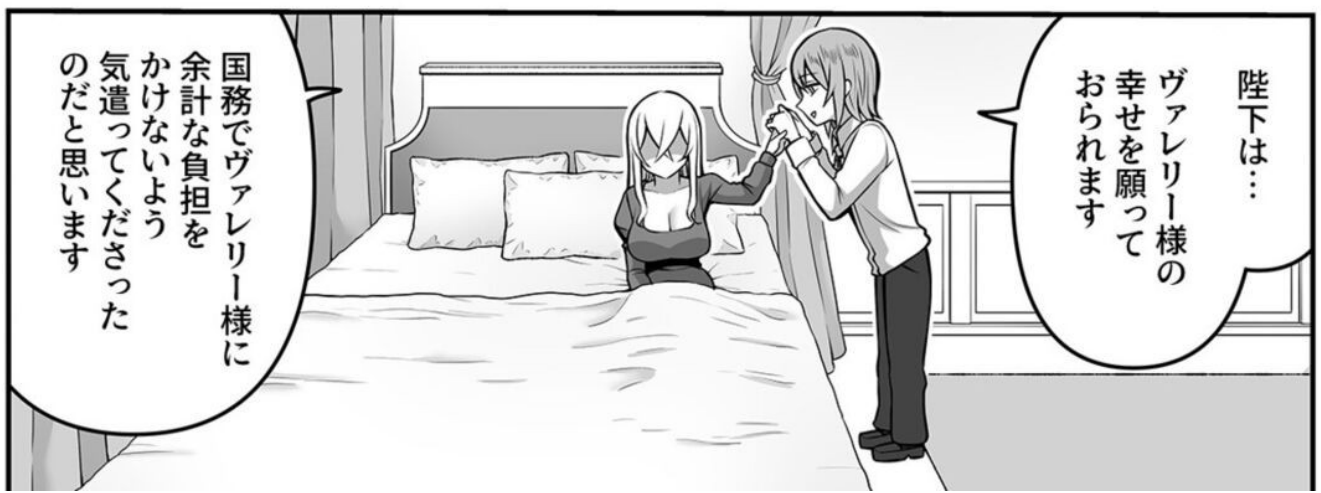
いい
一人で行く



……ヴァレリー様？



ヴァレリー様?





お父様も
お兄様も

忙しくて
構ってられないし…



ヴァレリー様…

私…
勉強苦手だし…
皆…
私がおかする度に
困った顔するの



そんな事
ありません…!!



お母様は
死んじゃったし…

私…
いらぬ子
なんだ…
カ…



カ
ア
ア
ア
ア
ア



陛下もヴァレリー様が
成長なされている事を
ご存知のはずです

若いうちは
身体を動かせ!と
私の同期はいつも
言っていました

何より私には
ヴァレリー様が必要です!!
お待ちしております!!



すみません...!!
ヴァレリー様の
落ち込んでいる顔を
見るのが辛くて...



ふふん!!
見習いの癖に
偉そう!!



デル...



ずっと
側に居てね...



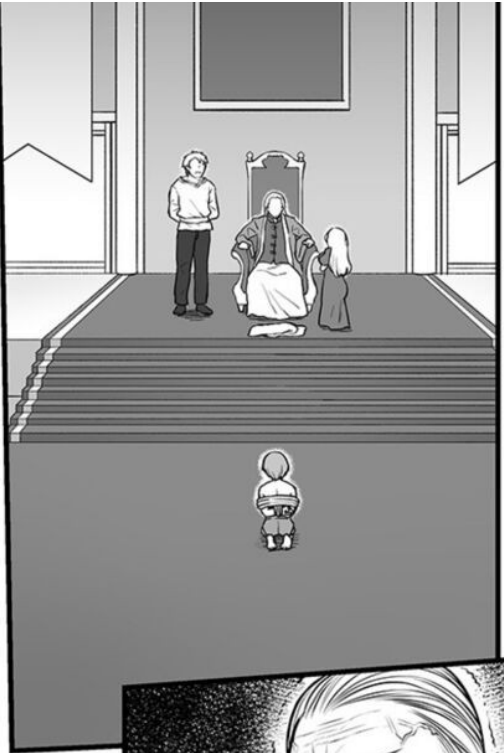
ヴァレリー様...

.....

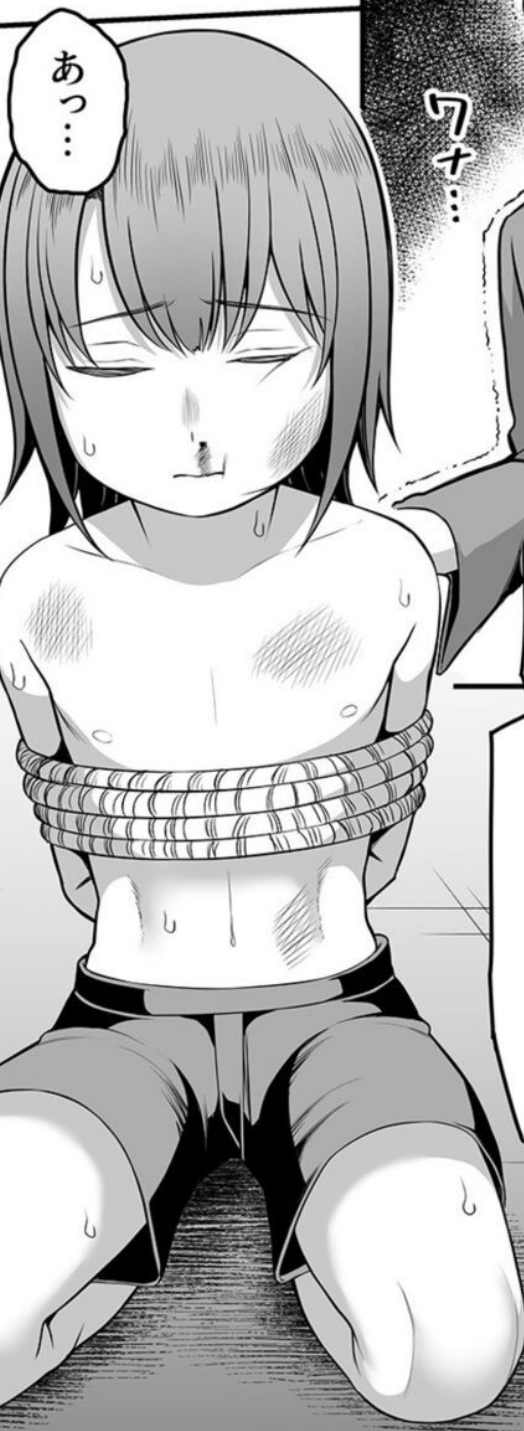


私も好き

お父様……?
今なんて……



わ私の娘を……!!
見習いの……分際で……っ!!
処女を奪っただと……!!



あっ……



こやつは
死刑だ!!



あのっ……!!
い嫌です……!!
デルだけは……!!
許してください!!



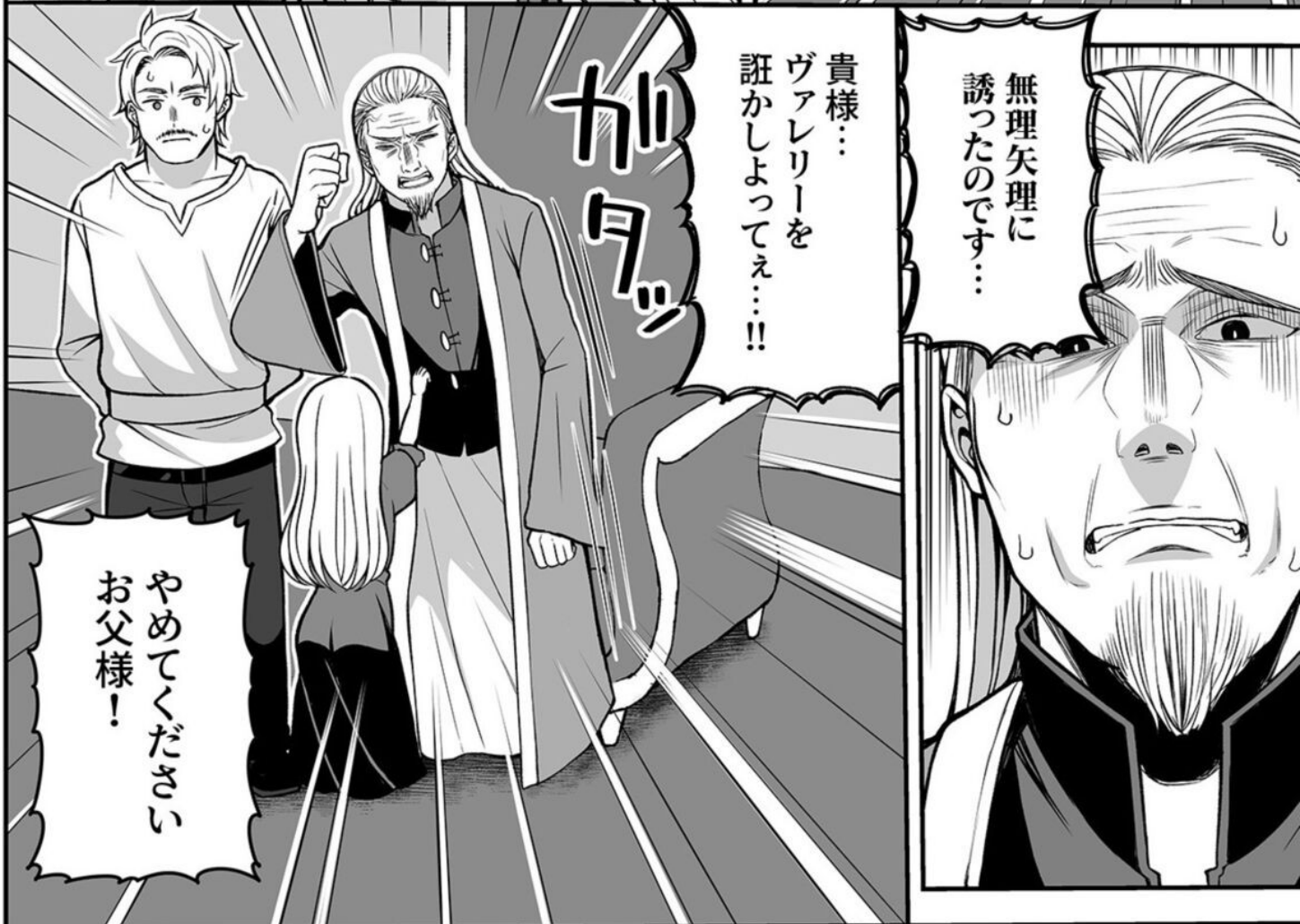
なんだと!?

私がデルを…

ヴァレリー様…

わ私が
誘ったのです…

いや許せぬ!
ヴァレリーにはもう
隣国から縁談も
来るような
時期なのだ!!
それを一民の分際



無理矢理に
誘ったのです…

貴様…
ヴァレリーを
誑かしよってえ…!!

カッ

やめてください
お父様!

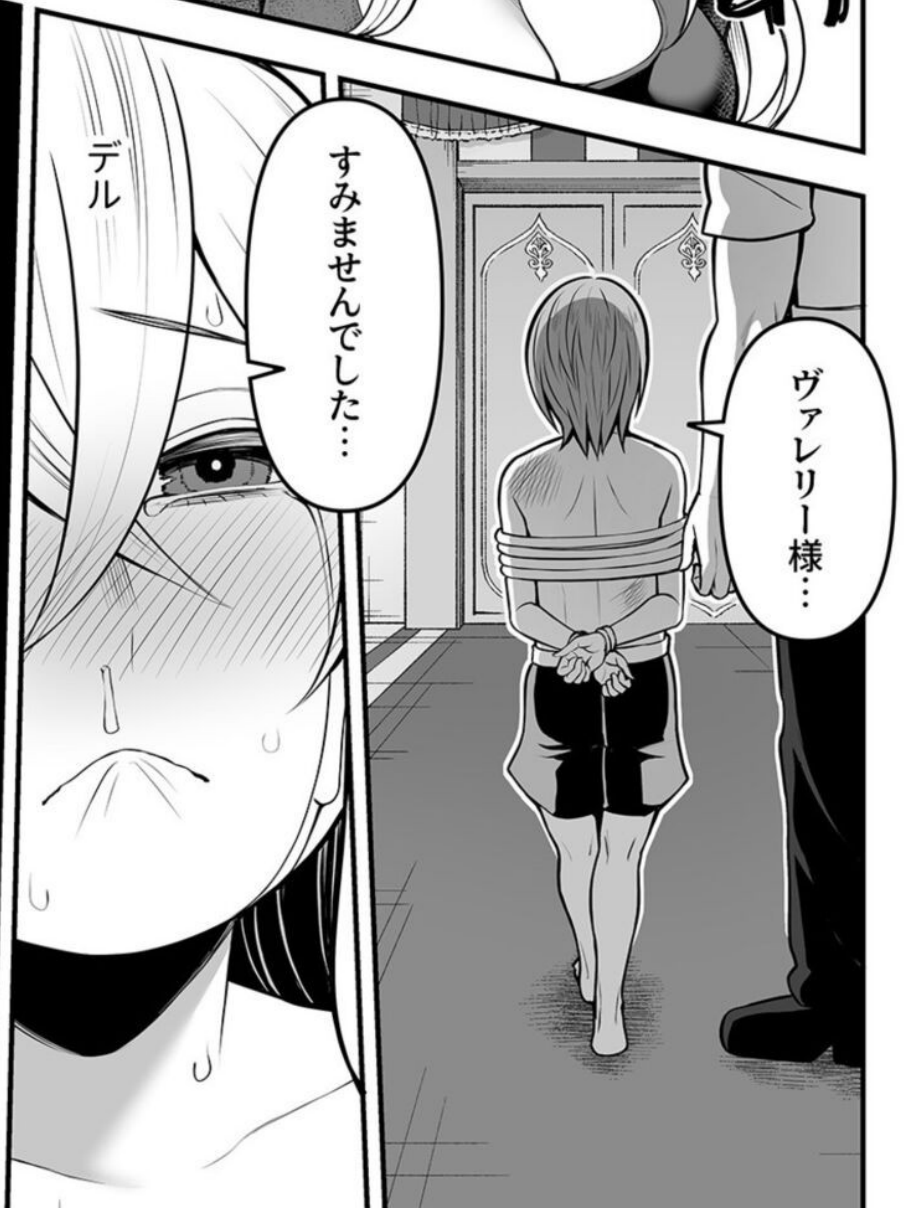
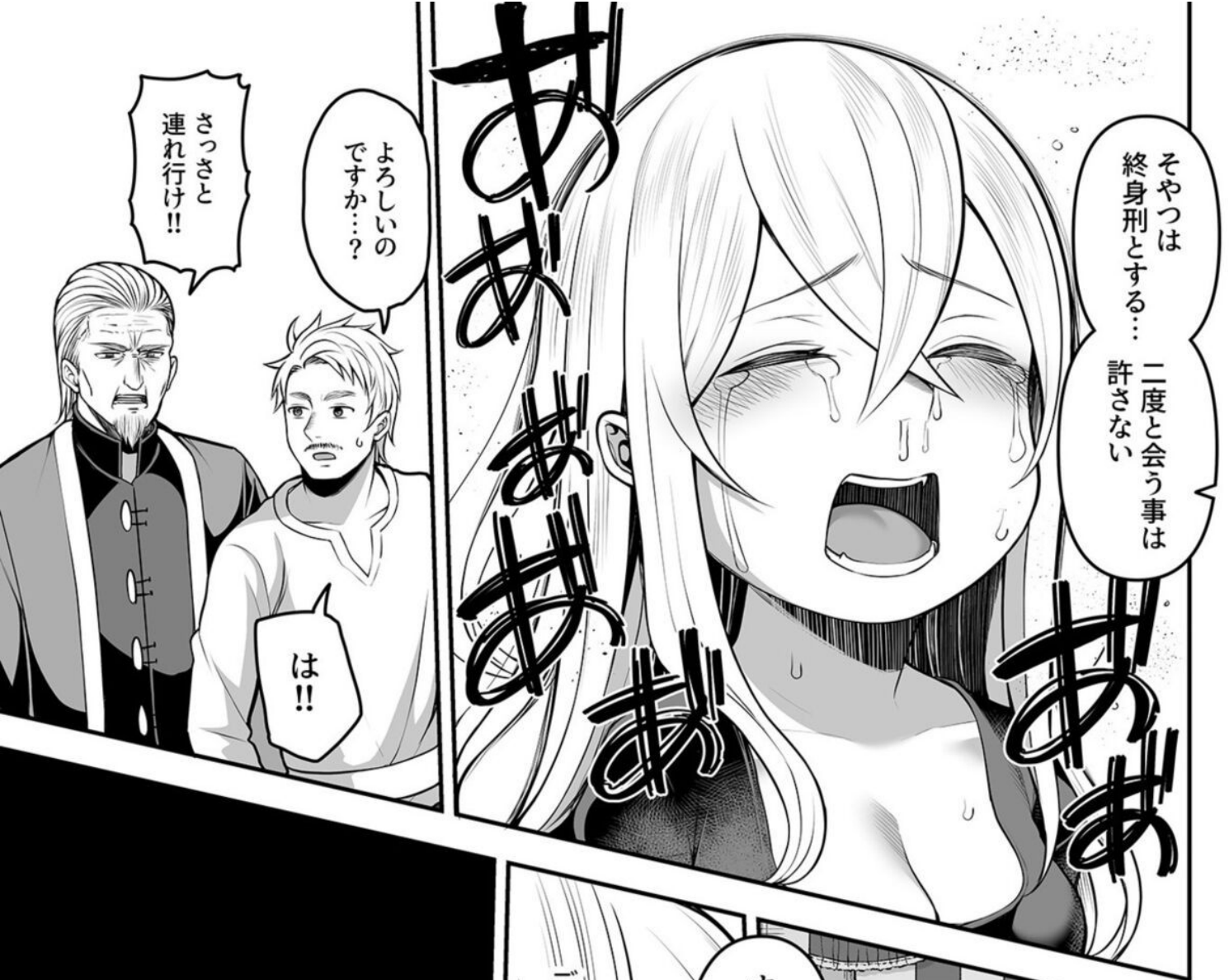


分かった…

しかし罪は
裁かねばならぬ

もうよい!!
ヴァレリー…!!
もう泣かないでくれ…

お父様!!



なんで謝ったの——？

間違いつて
認めないでよ...

8年後

あっ♡ごですっ♡
ち♡ほ♡ら♡い♡♡♡

ヴァレリー様…!!!
そろそろ射精そうです…!!

私の胸に…
おかけなさい…!!!



うっ!!



ひゃっ…!!

すみません
ヴァレリー様…っ!!
お顔に—





何が国一番の
剣使いですの!?

自分についてる剣も
ロクに扱えないのに
聞いて呆れますわ!!

ヴァレリー様
お気を鎮めてください…

国は全て陛下と王子様が
取り仕切っておられますし

もう二十歳に
なられますのに

他の国との縁も
全て拒否して
来られています…

ヴァレリー様の
生き甲斐は
男漁りとメイドイビリ
だけですよね

せっせ

せっせ

ヴァレリー様は
そのように
お過ごしのようなです…

そそうか…
ヴァレリーが息災で
何よりだ

父上…
何が息災ですか
我が妹は
厄災ですよ

そう言うな…
ワシも国務にかまけ
あやつには何も
してやれなかった…

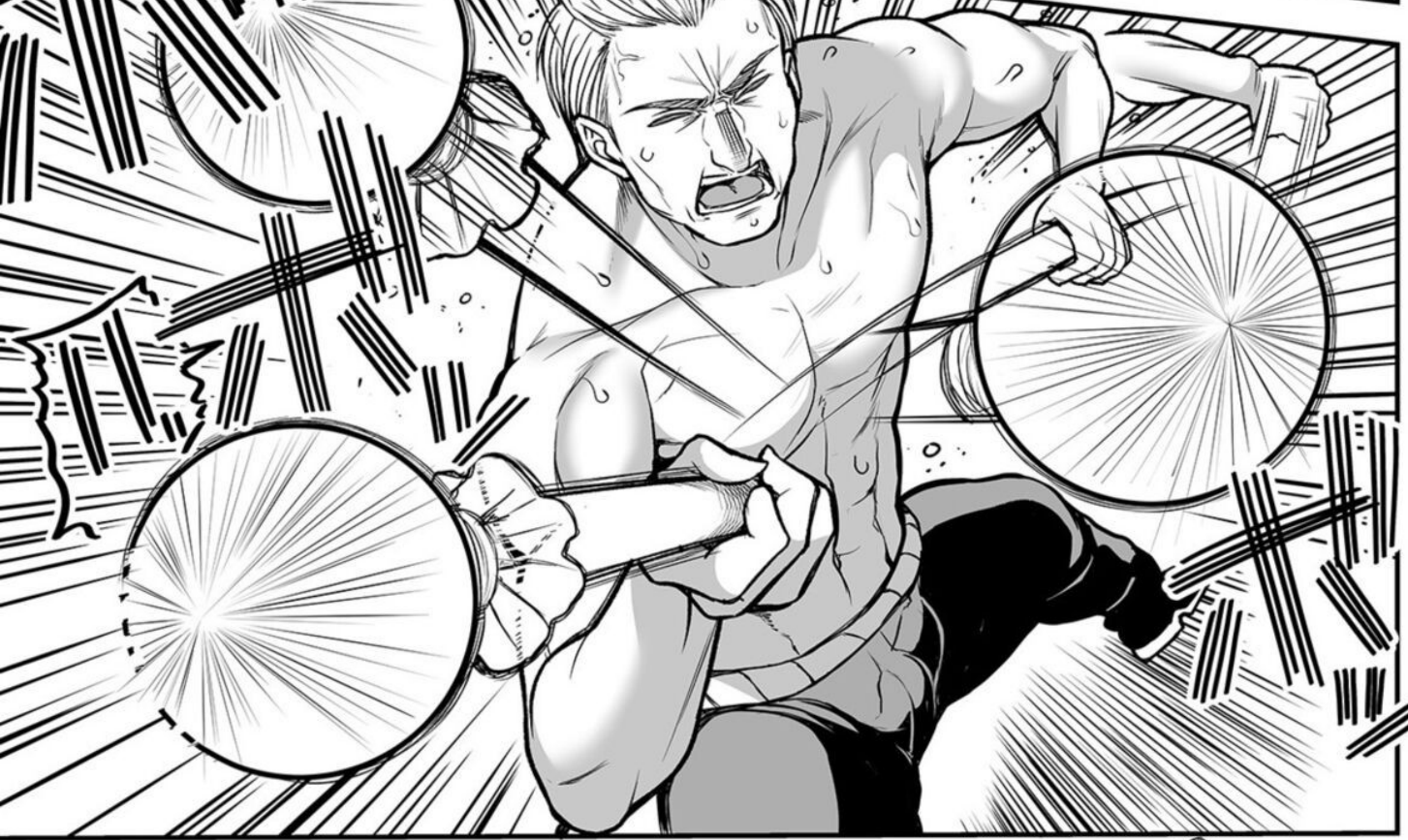
あの日…あの見習いを
許していれば…
ヴァレリーは真つ直ぐ
育ったのだろうか…
もう全て手遅れだ…
せめて好きなように…



は
ムラムラ
しますわ!!

中途半端なち○ぽに
突かれるのが
一番ムラムラする!!

何処かに
ビッグディック
生えてないかしら…

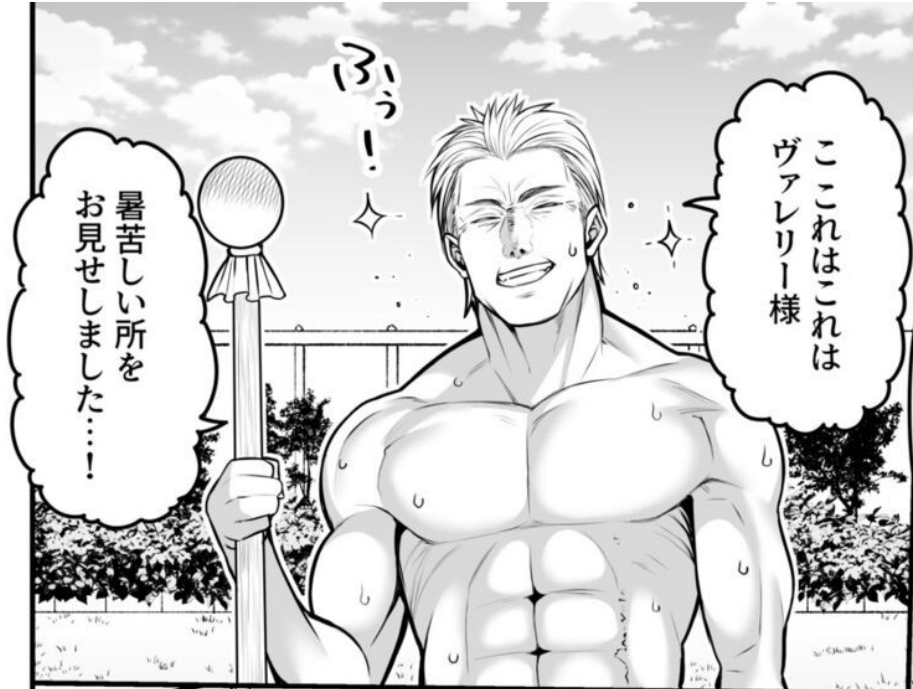


あらっ!!
いい得物ですわあ…!!

やっぱり男は
パワー!!

筋肉もプリプリで
美味しそう!!

それに…



暑苦しい所を
お見せしました…!!

ここはこれ
ヴァレリー様

ふう！
☆



精が出ますわね？



ふふ…♡
良いではないですか



とんでもありません
貴方の槍使いは
スマートで力強くて…
見惚れてしまいました

勿体なき
お言葉…!!



貴方の槍使い…
もっと見せてくださる…？

ヴァレリー様…!!
たつぷりと汗を
かいているので
あまりお近くに
寄られると臭いますよ…？





ハア...

ハア...

御意!!

この逢瀬は内緒ですよ?



ふふっ♡ 私を抱きたかったのですか?♡

ははっ♡

はい!! ヴアレリー様程美しい女性は他にいません...!!



子宮叩かれ過ぎてめっちゃ跳ねるっ♡

おっ♡ すっげ♡

あ♡

イグイグ...!! えっぐい アクメきましゅっ♡

ち○ぽ長すぎ...!!



そのまま

か構いませんっ♡ 貴方は特別ですっ♡

ヴァレリー様...!! 私もそろそろ...!!



ぐわッ!!
ぐわッ!!

ぐわッ!!
ぐわッ!!

なんてスケベな
おま○こだ…!!

ぐわッ!!

ぐわッ!!

ぐわッ!!

ぐわッ!!

ぐわッ!!

ぐわッ!!

ぐわッ!!

ぐわッ!!

ぐわッ!!

ぐわッ!!

ぐわッ!!

ぐわッ!!



ムワ…

?

何を仰って？
まだ始まったばかりじゃ
ございませんこと？



はあ…はあ…
ヴァレリー様…
ありがとうございます
ございました

ハーツ
ハーツ

たあ



えっ!!



何かしっくり
来ないですわねえ…

イケメン以外も
試してみますか…

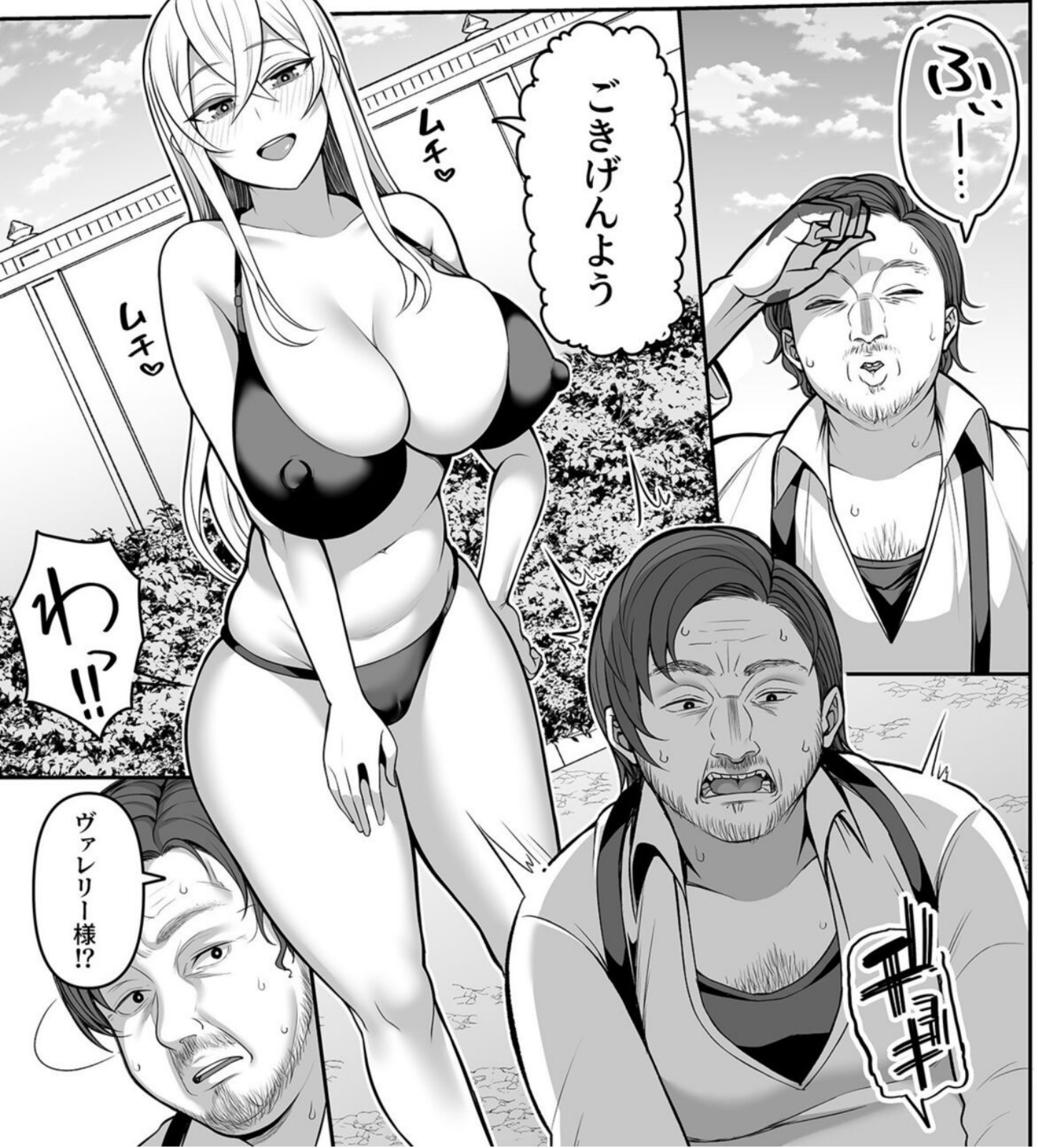
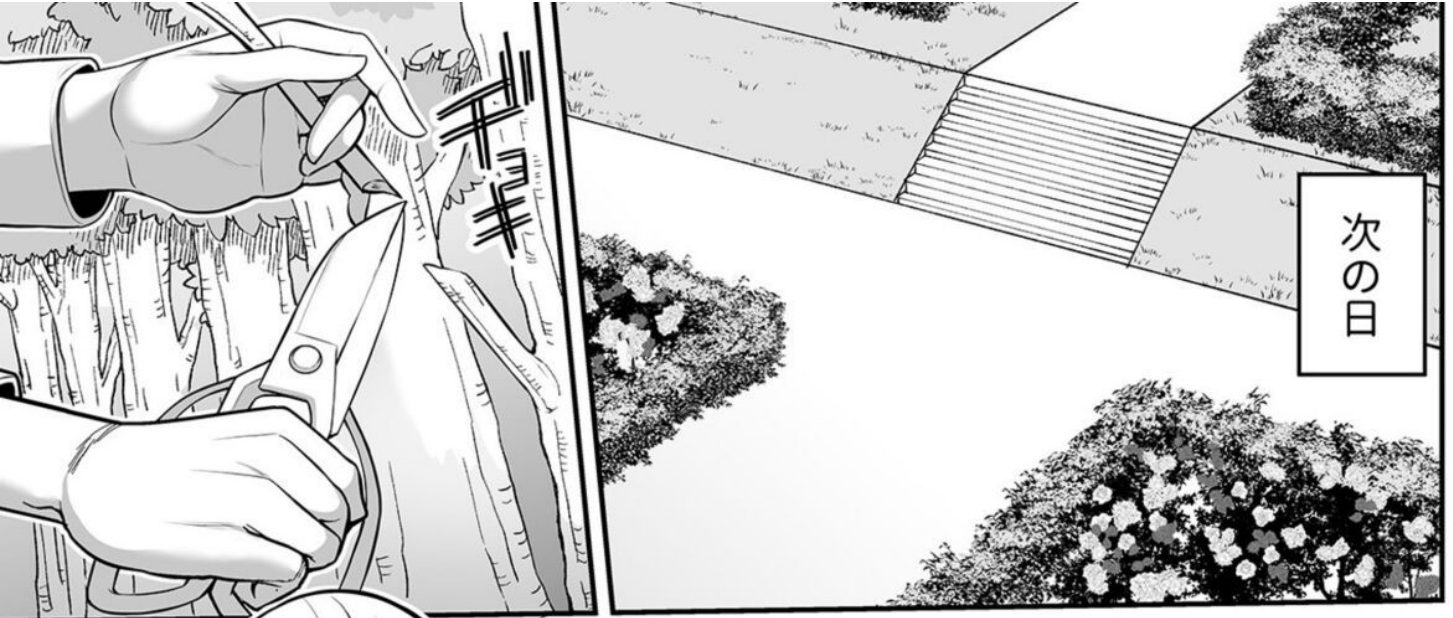
うーん…
スツキリは
しましたけど…



ふう…!!
スツキリしました!!
好きなだけ気絶してから
帰ってくださいませ

ちーん

次の日



ごきげんよう

ふー...

わ!!

ヴァレリー様!?

わ!!

しゅ

しゅ



あらあら...
見てますわねえ...♡

ふふ無論
花に慰められに
来ましたの



このような場所に
一体何の御用で...?

それに
その御姿は...

ちらっ



デブスの庭師...
鼻息荒く
この私の身体を
視姦している...

さ左様で!



それと明日
メイド達と水浴びに
出掛けますから

新しい水浴び用衣装の
感想を聞いて
回っているのです

いかがです?

びびるん

はあ



今までこういう
手合いは想像にも
しておりません
でしたが...

しりしり

へへっ
ヴァレリー様の
美しさの前では
花達の方が
恥じてしまいますよ

あら嬉しい
ありがとう

このような立派な
花を咲かせる
庭師の貴方に
手入れしていただいたら

キョ...

私という華は
もっと綺麗に
咲けるのかしら...?

私の崇高なる
性癖探しという
趣味の道程には

必要な道です!!

ヴァ...!!

ヴァレリー様...!!

ワァ...
ワァ...

カ...

あ...

い





身体と共に
自尊心が
穢されていく
感覚……

でも与えられる
快感は心地いい……

うへへ……
ヴァレリー様……
いいんですよ……？

栄養剤
入れちゃっても……？

ほろっ

は、

は、

は、

は、

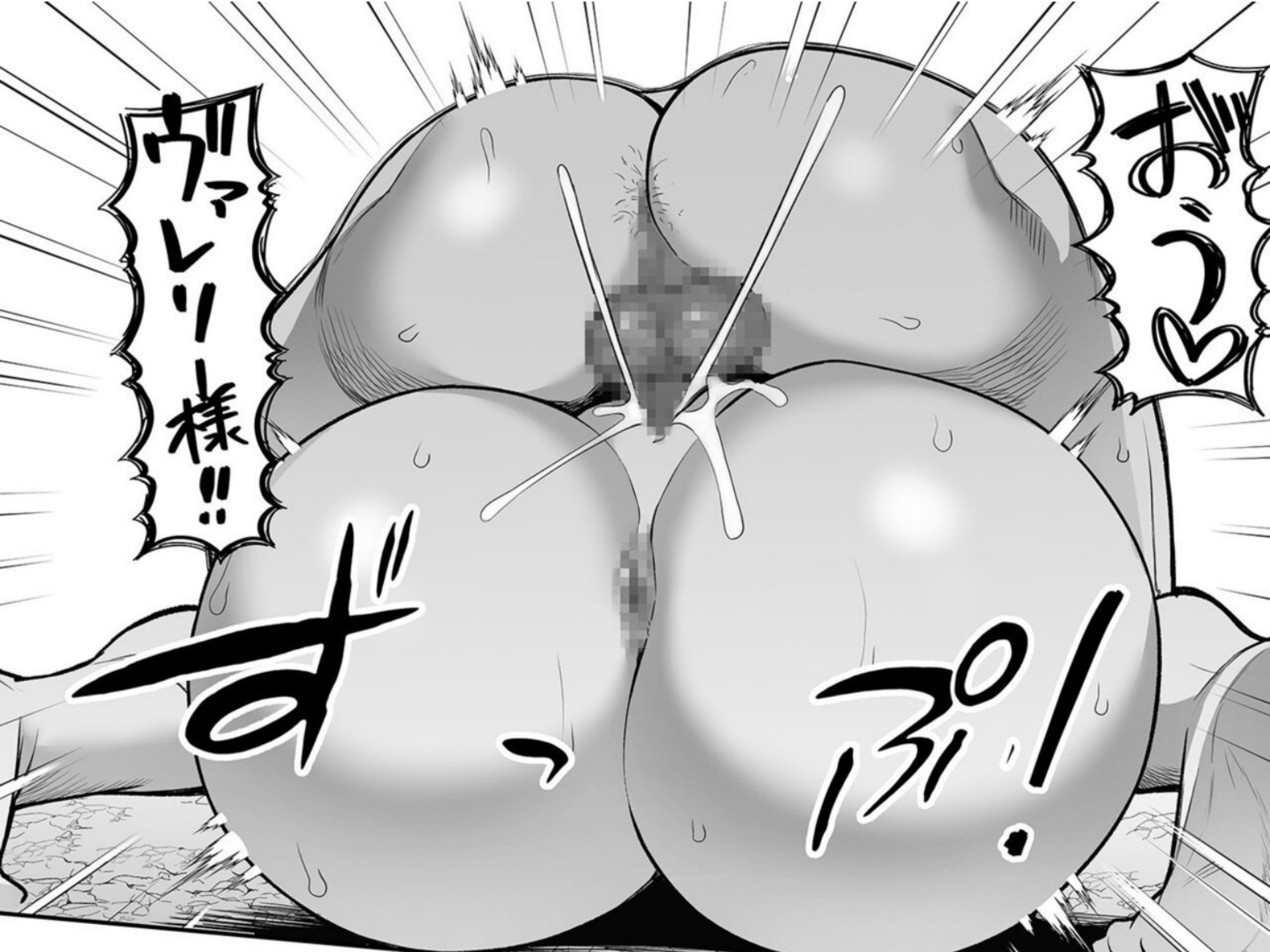
うん

ええ……♡

全て吸い取って
しまいますわよ……♡

ト

うん



カマレリ様!!

おっ♡

ず

130!



おま〇こ
押し広げられるっ♡

太ち〇ほ
効くっ♡

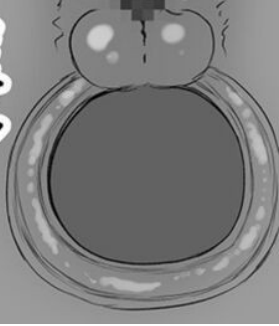
はっ♡
はっ♡

うふーっ!!
すっげえ…
これが王族ま〇こ…!!
良いもの食つてると
こんな吸い付きのいい
ま〇こになるんだな!!

腰止まらねえっ!!

三千♡

三千♡





ヴァレリー様…!?

中出しするのは
かまいません
ですが…

ゴッ

はっ!!

ふうー…!!

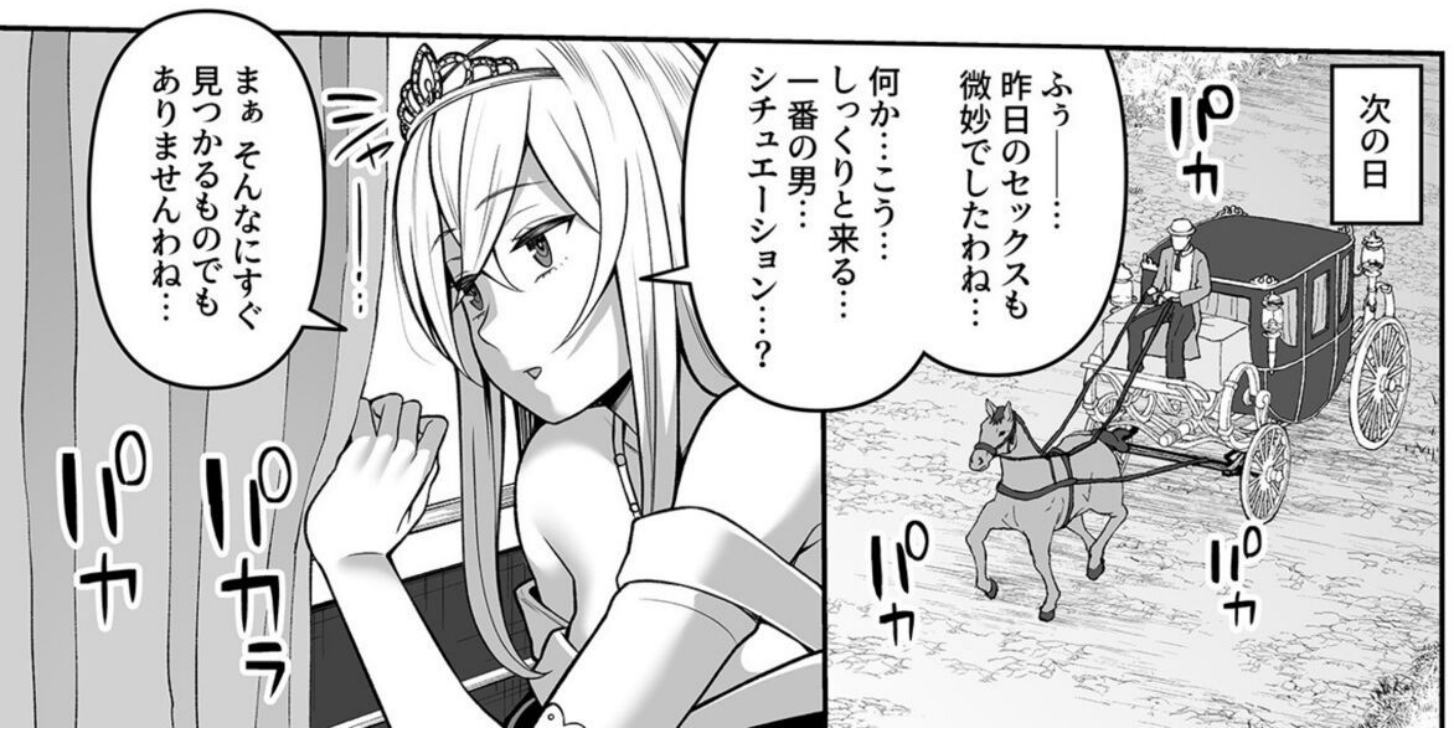
宣言通り
死になさい

満足致しました
でしょうか?

ヒイイー!

ヴァレリー様…!!
お許しください…!!

私の唇を奪って
よいはず
ありませんね?



まあそんなにすぐ
見つかるものでも
ありませんわね…

何か…こう…
しつくりと来る…
一番の男…
シチュエーション…?

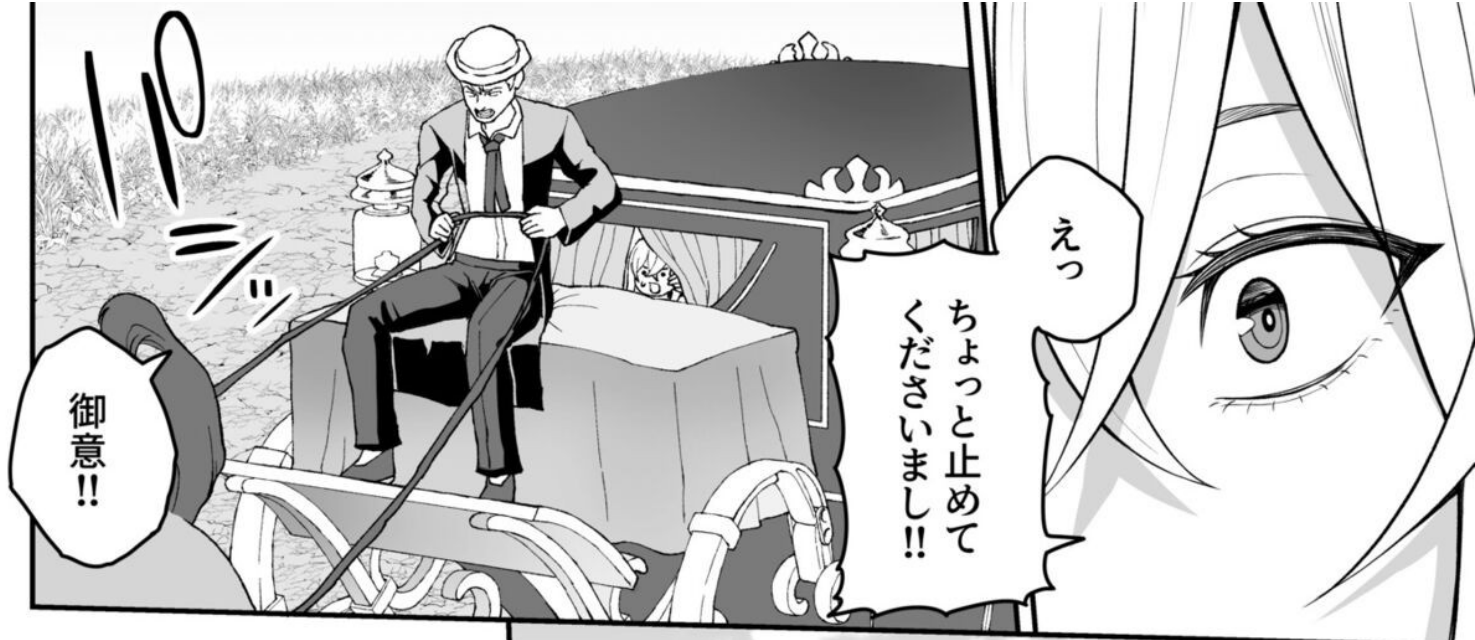
次の日

ふうー…
昨日のセックスも
微妙でしたわね…

パカ

パカ

パカ



ヴァレリー物語(1)～王女様はやりたい放題!?!～

著者 かゆみ止め

発行 プレステージ出版 

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。

★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。

かゆみ止め

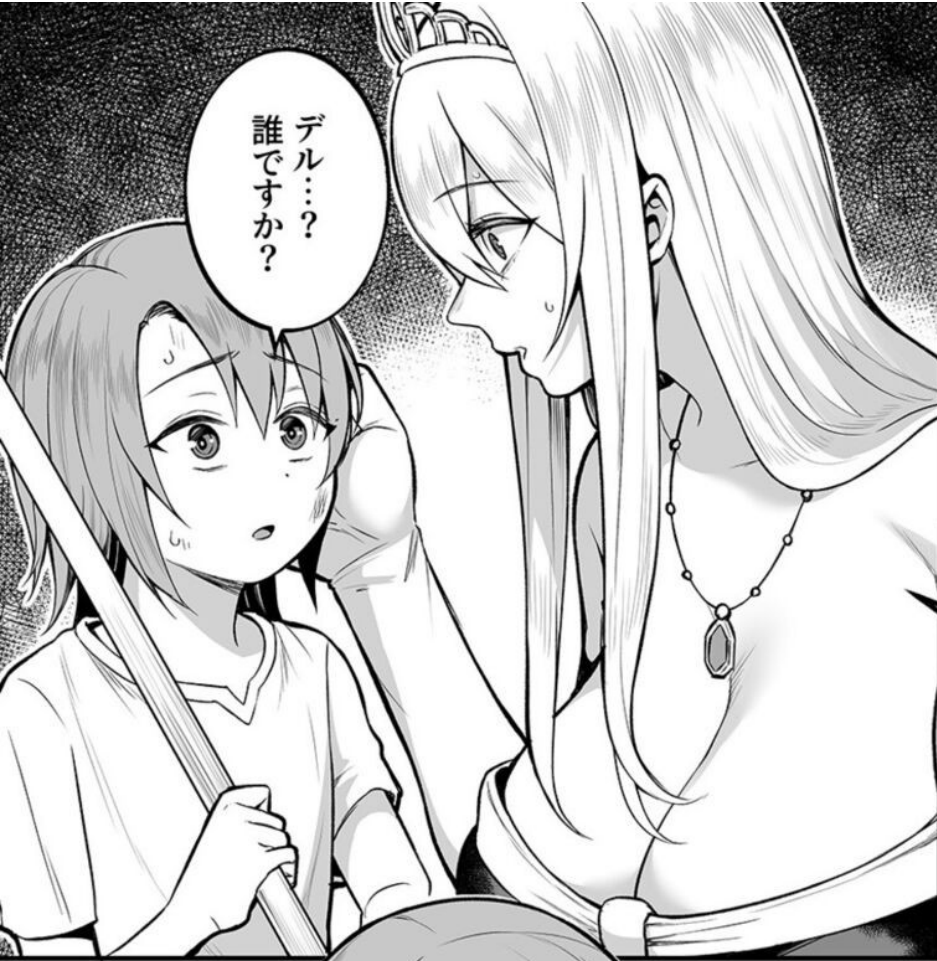
Kayumi dome

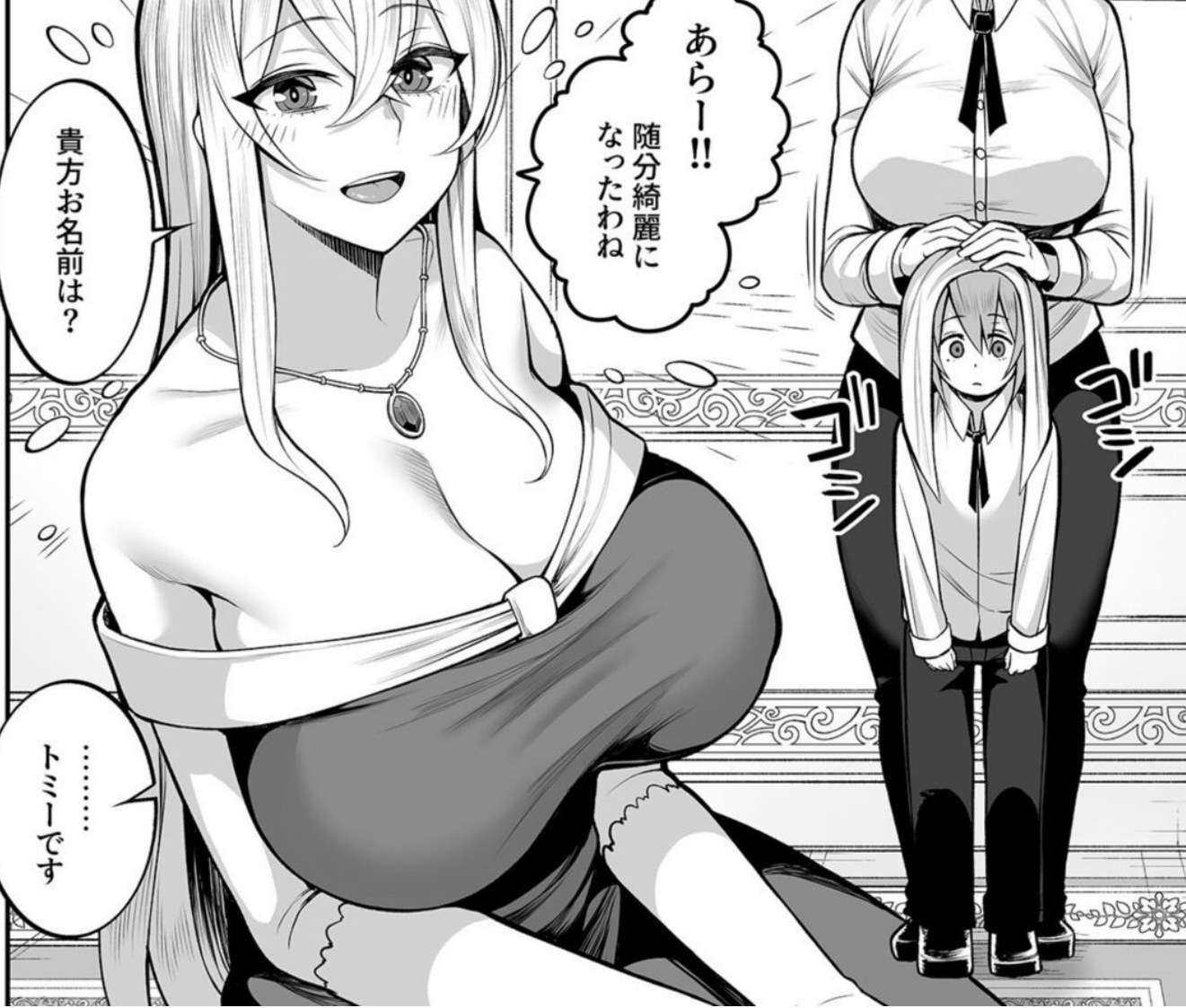
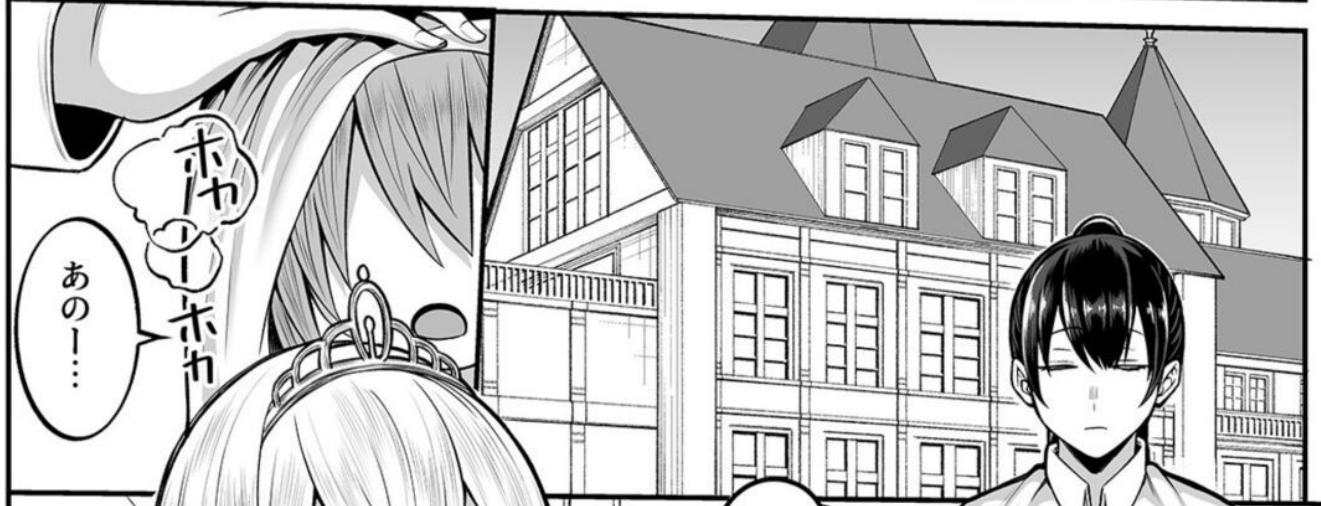
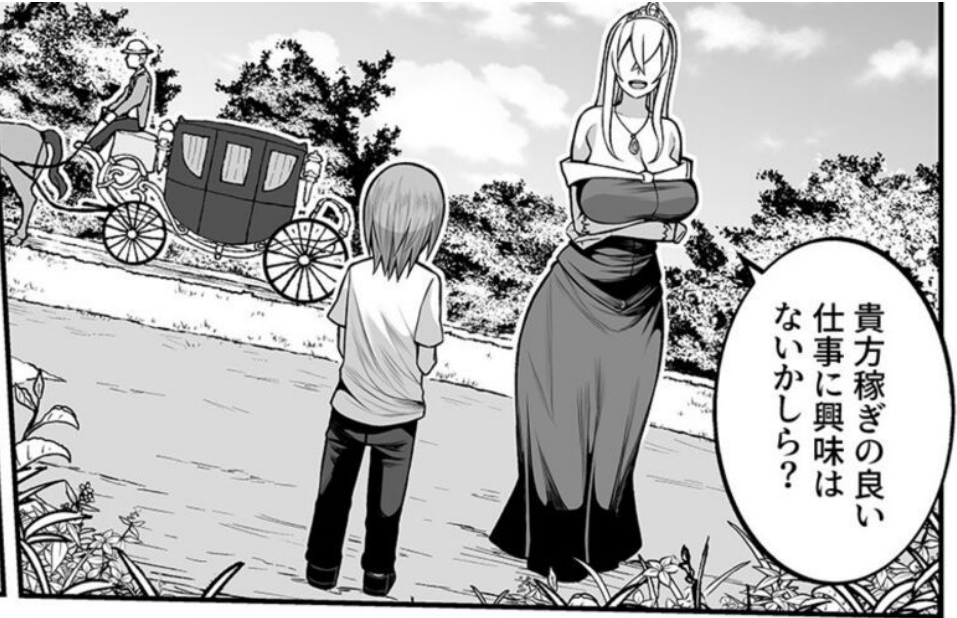
成年
コミック

～初恋の味はショタの味～

ヴァレリー

物語 ②







そう

トミーは
この仕事中
デルと名乗りなさい

私の事は
ヴァレリー様と
呼ぶこと

分かった?

はい!

デル...?
分かりました



それで...

ヴァレリー様
僕は一体
何をすれば...?

そうね

デルには
私の身の
回りの世話を
お願いしたいの

お茶を
入れたり

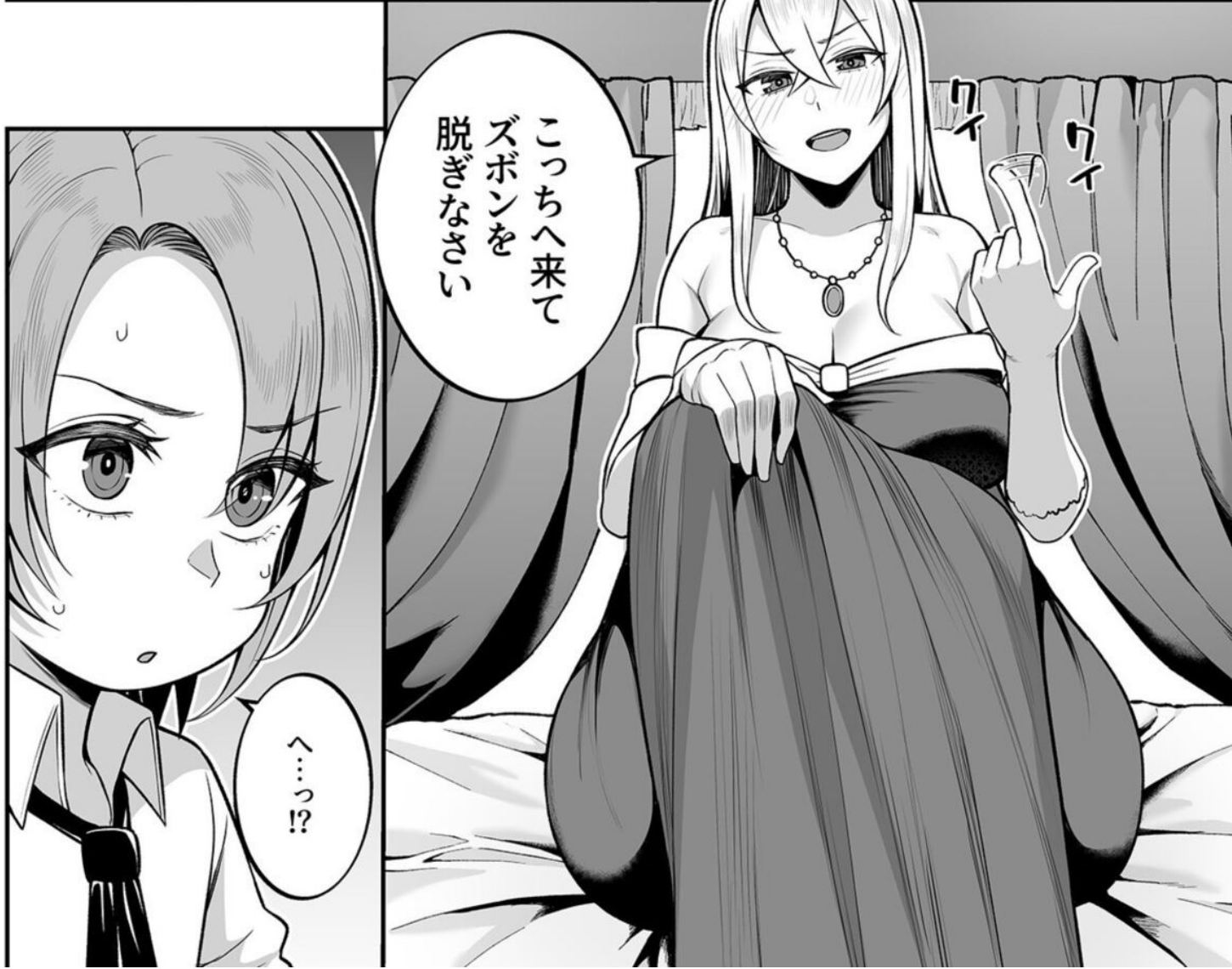
話相手に
なったり—

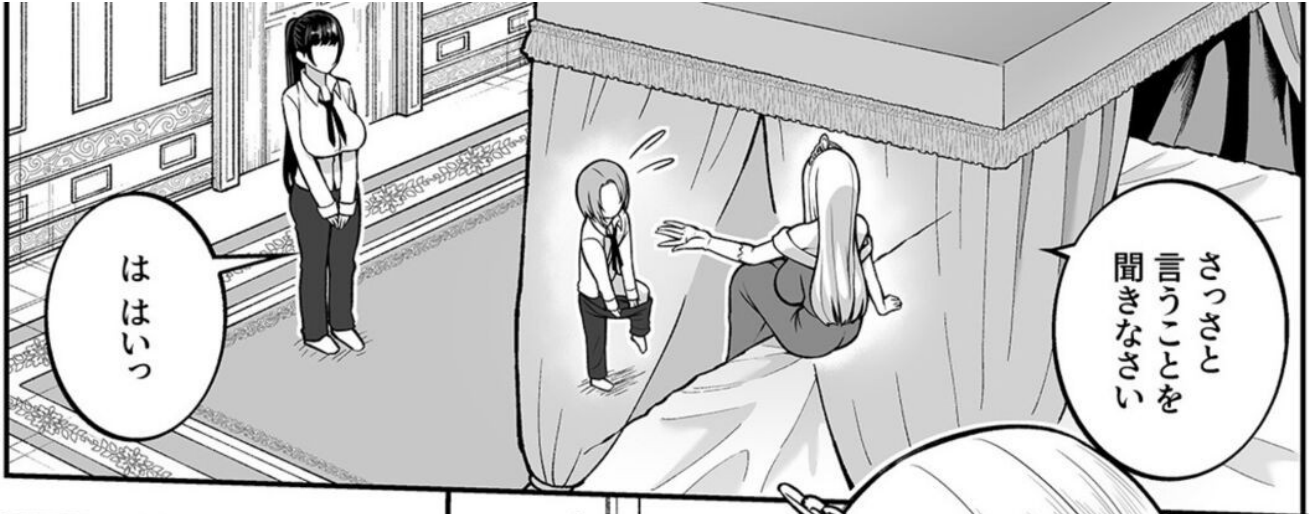


添い寝を
したり...

ニヤァ♡

それだけ
ですか?





ははっ

さっさと
言うことを
聞きなさい



ドキ

ドキ

そのまま
私とキス
しなさい

はいっ



カ
マ
マ
マ

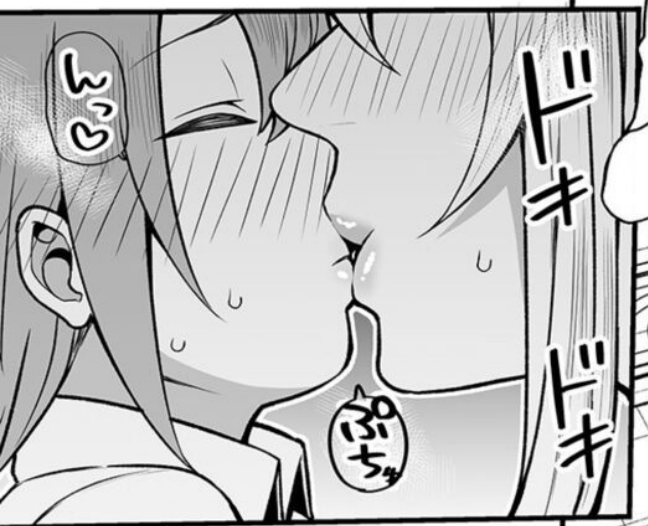
ドキ

ドキ

…っ
恥ずかしっ

あら小さあい…

デルもこんなに
小さかったかしら…?
私も子供だったから?



300

ドキ
ドキ

300



300

300



綺麗でモチモチのお肌♡♡

ほら腰突き出して？

はら...

こら腰が引けてるわよ

あぁ

そんな所舐めたら汚いです...!

サワ

サワ



あっあっヴァレリー様...



皮の中におち○ち○隠れちゃって...

中身もチエックしないとね



変な感じですか... あっ♡



どう変なの
ですか？

シヨタち○ぽの
癖にしっかり
感じてるのね？
生意気



ヴァレリー様ツ!!
なんか出ます！



この初々しい感じ...
懐かしい
すごく興奮する...
なんだか
段々わかってきた...

きん
きん



あ...♡

ゴウゴウ

ムム...

ヴァレリー様♡

ムム...

はあはあ...
すみません
ヴァレリー様

おはよう♡

ムム...

ふふふっ...
この私に精液
飲ませるなんて
良い度胸ね？

デル
お仕置きよ

サ



きつとー!!!
いーや



私... たぶん
いーや

シヨタコン
だー!!!

あー
あー
あー



性に疎い子を
組み敷いて
征服する感じ...

ふふっ

当然の事
言っても
許さないわよ



ヴァレリー様の
身体すごい...
母さんと全然
違う...

はっ

はっ



興奮する!!

最高に——

あ、ヴァレリー様の中にち〇ち〇が…!!

挿入した♡

ガキち〇ぽガキガキに勃起させて本能で孕まそうとしてるのかしら？

アッ

アッ

アッ

ゆ許して
ください

ち○ち○
取れちやいますう…!!

ふふっ
何言ってるの？
取るも何も

デルのち○ぽも
口も身体も

全部
私の物よ

ああっ!!
そんなあ!!

デル知ってる?
さっきの白いの

おま○この
中に出すと
赤ちゃんが
できるの

赤ちゃん…!?

そう

私とデルの
赤ちゃん♡

わわかんないですっ
抜いてくださいっ

だーめ♡

デルの赤ちゃん
作っちゃうから♡

初恋の人の
赤ちゃんっ♡

射精せ♡
射精せ♡

私と赤ちゃん
作れっ

いいいいっ!!
気持ち良すぎて
わかんないっ

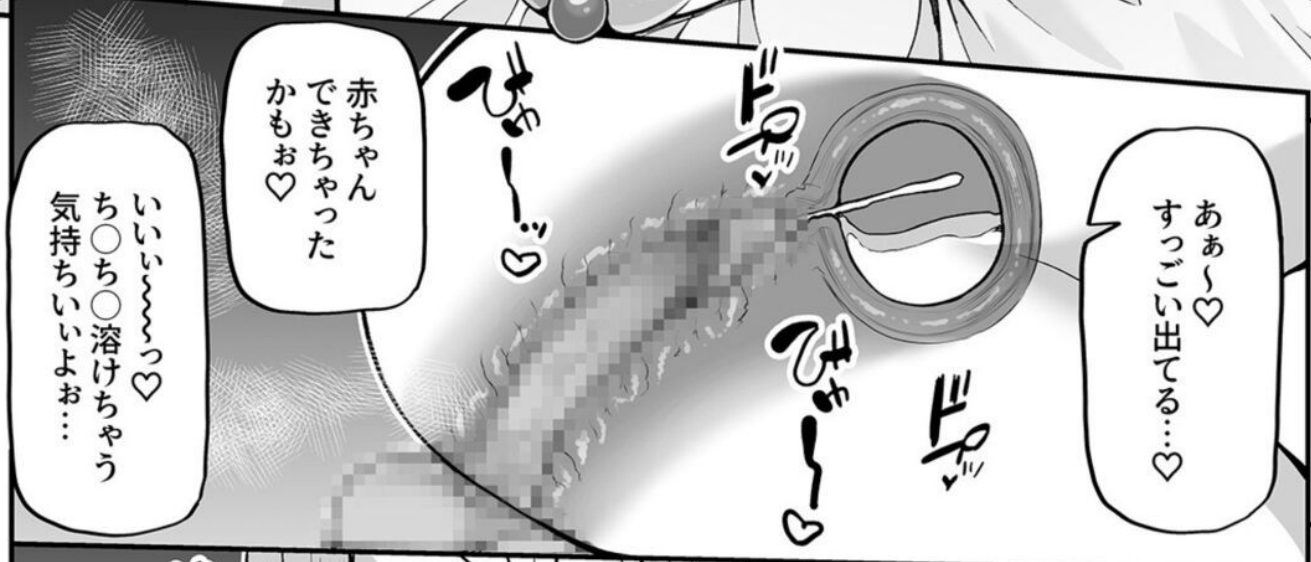
ヴァレリー様っ
射精そうです
またさっきの出るっ





射精、の、!!

♡♡♡♡♡



ああ♡♡
すい♡♡出する…♡

赤ちゃん
できちゃった
かも♡

いい♡♡♡♡♡
ち♡ち♡溶けちゃう
気持ちいいよお…



私も
気持ちよかったわよ
デル♡

は♡♡
はあはあ…



あ♡♡

ズン♡♡
ゴゴゴ♡

んふ♡
まだまだ
できそうね？

じゃあ次は
デルがジロジロ
見た

おっぱいで♡

おっぱい…
え…!!

ち○ち○を
おっぱいで
揉むの

パイズリって
いうのよ

ギュー

ギュー

ギュー

ギュー

嬉しいねえ？

おっぱい
柔らかか…

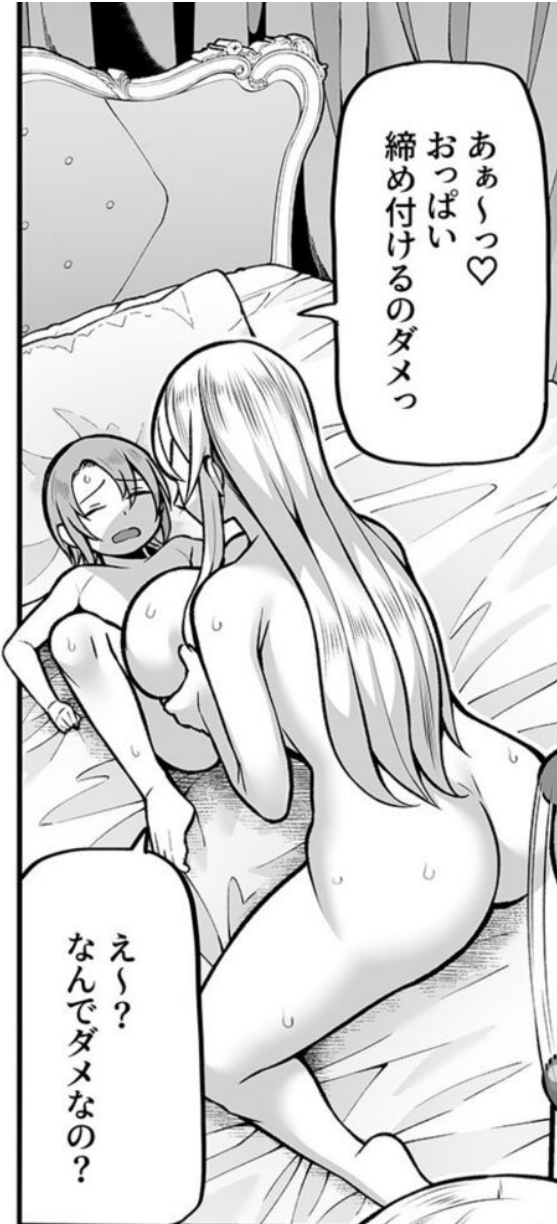
ああ…!!
あったかい…

むぎゅ

ギュー

ギュー

ギュー



ああ〜っ♡
おっぱい
締め付けるのダメっ



デルのち○ほ
おっぱいでも
全部食べちゃおう〜っ♡
シヨたち○ほ
私のおっぱいと
全部埋まっちゃうねえ♡

え〜?
なんでダメなの?



いっぱい
カウパー出てきた♡

んっ美味し♡

あぁっ!!
ペロやばっ!!



うああ〜っ♡
ダメっダメっ



射精する!!

あーっ♡♡♡

あーっ♡♡♡

あーっ♡♡♡

あーっ♡♡♡



あーっ♡♡♡



あーっ♡♡♡

あーっ♡♡♡



んふーっ♡
デルのザーメンで
おっぱいどろどろ…♡

こんな量
どっくに
隠してるの♡

あーっ♡♡♡

あーっ♡♡♡

あーっ♡♡♡

あーっ♡♡♡

あーっ♡♡♡



おっ♡おっ♡
デルち○ほ
また固くなった♡

母乳絞るの
やめなさいっ♡
乳首イクッ♡

おっ♡

IP
チュッ

IP
チュッ

IP
チュッ

IP
チュッ

ヴァレリー様
好きっ♡好きっ♡

また射精る♡

私も好きっ♡
デル♡射精して♡

IP
チュッ

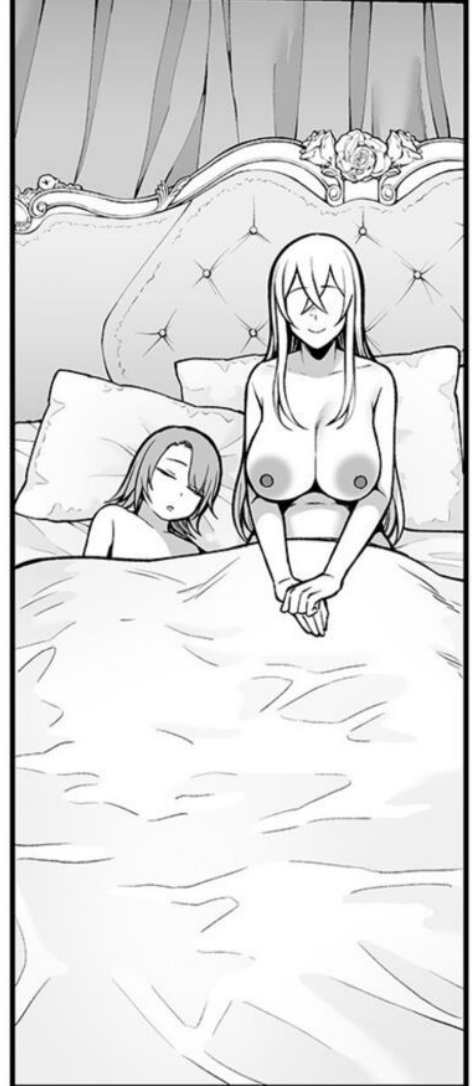
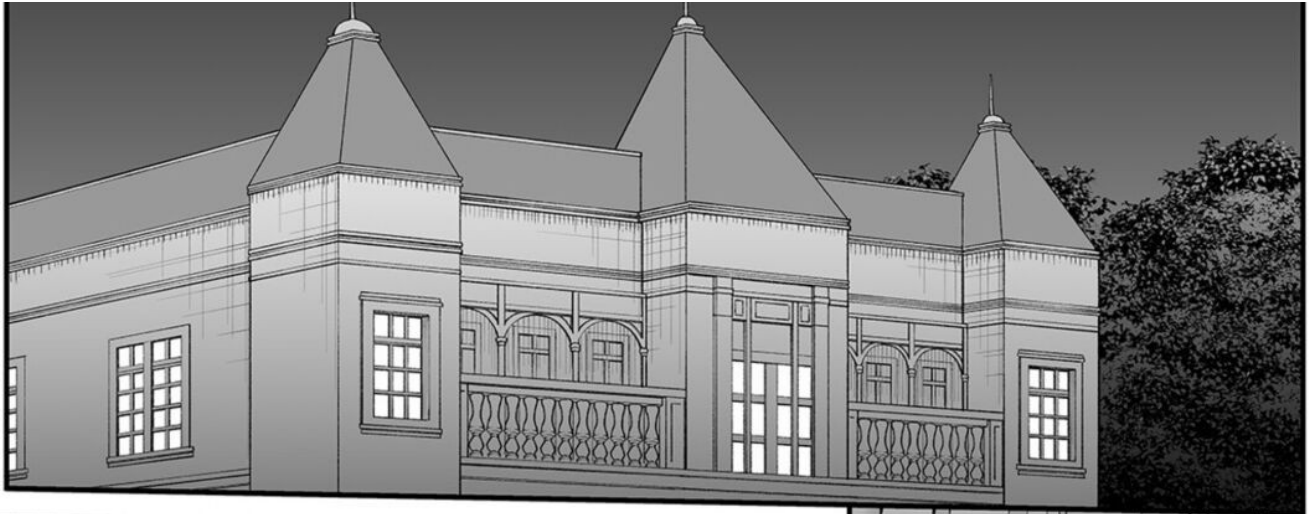
IP
チュッ

IP
チュッ

IP
チュッ







デルが起きたら
銀貨10枚持たせて
家に帰しなさい

5枚の
はずでは…？

ふふっ
いいよ


面白いことに
なるから

かしくまりました

フフフフ…

ヴァレリー物語(2)～初恋の味はシヨタの味～

著者 かゆみ止め

発行 プレステージ出版 

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。
